



「読高生はダイヤモンドの原石である」

DIAMOND



令和8年6月号
学校便り No. 4

読谷高校

発行者：学校長

2026年度「6.23 平和特設授業」

今年も、読谷高校が大切にしている特色ある取組「6.23 平和特設授業」が、6/12に鳳ホールにて開催されました。この取組は1986（昭和61）年に「平和コンサート」として始まり、今年で41回目を迎えました。2月から準備が始まり、生徒実行委員会を中心に、総勢250名あまりの生徒が関わり、「生徒主体で創り上げた取組」です。本校の平和学習は、単に過去を学ぶだけではなく、「平和とは何か」を自分事として考え、表現し、次の世代へとつないでいくことを大切にしています。

実行委員がテーマに込めた思い

今年のテーマは、「平和をうたう世界の今～読高生が語り継ぐ戦後の沖縄～」です。このテーマは、沖縄だけでなく世界にも視野を広げ、「平和とは何か」を多様な視点から捉え直したいという生徒たちの思いが込められています。「うたう」という漢字に限定されない表現には、平和や思いの多様性を込め、「世界の今」では現在も続く戦争や対立に目を向ける必要性を示しています。また「戦後の沖縄」には、沖縄の抱える課題から「戦後＝平和」とは言えない現実を重ねています。「読高生が語り継ぐ」とすることで、過去を学ぶだけでなく、自分たちの課題として受け止め、次の世代へつなげる責任を示しました。このテーマを通して平和を「与えられるもの」ではなく「考え続け、関わり続けるもの」として捉え直すきっかけとしたいと考えています。

玉城デニー知事から激励されました

本校の伝統ある平和の取組に対し、玉城デニー知事からメッセージ動画を頂き、激励を受けました。これは、生徒実行委員が知事へ手紙を書き、この取組への熱い思いを伝えたところ、ご多忙の中、メッセージ動画にて生徒の思いに応えて頂きました。



2026年度「6.23 平和特設授業」
～読谷高校生による劇、合唱、ダンス、三線、郷土芸能、平和学習発表の舞台～
日時：6月12日(金) 受付10時 開演10時15分 終演12時15分
観覧可公演 場所：読谷村文化センター(鳳ホール) 【入場無料】



合唱「いのちのリレー」

- 全体合唱
- 平和宣言
- 郷土芸能
- オリジナル劇
- 八重山
- ダイナミック琉球
- 読谷の戦後史
- 三線
- 艦砲
- 創作ダンス
- 核と沖縄
- 佐喜眞美術館
- 伝統劇
- 合唱

図書委員は、フィールドワークを通して戦後史を調査し、「佐喜眞美術館で学んだこと」「読谷の戦後史」「核と沖縄」「八重山マラリアと読谷村」などをテーマに、その成果を報告発表しました。合唱や創作ダンス、郷土芸能などの発表もあり、生徒たちは舞台上でそれぞれが平和について表現し、発信しました。女子学徒隊の戦争体験を伝える伝統劇「伝えたい思い」では、戦時中の人々が人ではなく戦争のむごさや命の尊さを伝え、オリジナル劇「終わらない戦後」では、戦後も続いた沖縄の苦難に焦点を当て、平和とは何かを改めて考えさせられました。最後に、生徒実行委員が「非核・平和沖縄県宣言」を発表し、会場全体で「さとうきび畑」と「月桃」を合唱して、特設授業を締めくくりました。



図書委員の報告(入口掲示)



図書委員による報告・発表



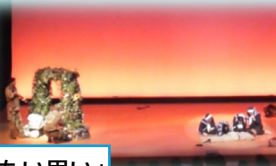
ダンス部による平和についての表現・発信



艦砲め喰え一残さー(三線・朗読)



伝統劇「伝えたい思い」



オリジナル劇「終わらない戦後」



郷土芸能



非核・平和沖縄県宣言



全体合唱(さとうきび畑・月桃)